

昭和二十八年度



卷
北洋印刷株式会社
(西流、卷四、電話204番)

福田幸作、久保田
小林清策、伊藤正、
星井豊作、山添清一

財務委員会委員長
大原 政治
消防委員会委員長

案を承認した
三月二十六日
予算審査特別

議第十五號より二十號まで一括上程、慎重審議の結果原案

菱の実

暑い寒いも
彼岸までと
云うが、彼
岸を過ぎて
一ヶ月近い
のに霞が落
ちたりでス

卷町豫算町會

町議会だより

三月十日午後一時
町議会三月定例会

出席二十四名

会期を二十日間とする
ことを決定

案十三件及報告一件を
上程、理事者の提案理由の説明後、議案調査
のため、十六日まで休会、十七日再開するこ
ととして散会

三月十七日

出席二十四名
欠席二名

に對する一般
議案に對する

十三號

張工事)を上
道常任委員会

二十八年度予
特別委員会を

財務委員会
大原政治、小林太藏
山添清一郎、土田藤次
孫子、井沢一二、白崎
崎一二、八木沢菊藏
消防委員会
齋藤作次、福田幸作
玉木鹿藏、久保田梅藏

昭和28年度卷町歳入歳出予算		
歳 入		
町 村 民 稅	21.054.400	
市町村民税	11.096.800	
固定資産税	7.994.00	
自 轉 車 稅	336.000	
荷 車 稅	223.600	
電気ガス税	1.404.000	
平衡交付金	1.700.000	
公営企業及財産收入	727.000	
使 用 手 数 料	1.278.200	
使 用 料	629.200	
手 数 料	649.000	
県 支 出 金	735.600	
寄 附 金	400.000	
緑 雜 団 体 支 出 金	1.100.000	
入 収 入	197.900	
替 金 戻 入	25.000	
緑 替 金 戻 入	100.000	
雜 町 債	72.900	
	3.570.000	
歳 入 合 計	30.763.100	
歳 出		
議 会 費	762.300	
役 会 場 費	6.669.100	
消 防 費	4.418.200	
(自動車ボンブ購入費 2.000.000円含む)		
土 木 費	2.130.500	
道 路 橋 梁 費	1.545.700	
河 川 費	484.800	
都 市 計 画 費	100.000	
教 育 費	4.644.300	
教育委員会費	127.400	
小 学 校 費	1.855.400	
中 学 校 費	1.880.500	
公 民 館 費	780.700	
社会及 労 份 施 設 費	2.711.100	
民 生 委 員 費	120.500	
住 宅 費	105.400	
保 育 所 費	2.485.200	
保 健 衛 生 費	1,329.000	
伝 染 予 防 費	311.500	
隔 離 病 舍 費	150.000	
結 核 予 防 費	180.100	
火 葬 場 費	147.400	
汚 物 撫 除 費	380.000	
寄 生 虫 予 防 費	125.000	
ト ラ ヨ ー マ 予 防 費	35.000	
産 業 経 営 費	1.687.500	
市 場 費	179.400	
農 業 費	323.100	
中小企 業 費	330.200	
農 業 委 員 會 費	659.800	
交 換 分 合 費	185.000	
財 產 費	1.100.000	
統 計 調 査 費	155.800	
選 舉 費	138.000	
公 債 費	2.045.700	
元 利 債 還 金	1.228.100	
利 子	817.600	
諸 支 出 金	2.850.100	
徴 緑 費	271.800	
負 緑 費	1.000.000	
葬 祭 費	1.448.300	
予 備 費	100.000	
	30.000	
歳 出 合 計	121.500	
	歳 出 合 計	30.763.100

頃の塞さんは天変とでもいうのであろうか、此の天変を他処に目下國會の兩院選舉で関係者が火花を散らして戦つてゐる。これを遂鹿戦ともいふが、語源は支那で、鹿とは帝位をえたものと云うから鹿を遂うとは即ち天下を争うことである。遂るのは候補者、遂われているのは帝位でもなからうが、兎に角吾々有權者である。「弓矢より紙幣を握つて鹿を遂い」川柳の文句通りとしたら天変が不吉に通じそうな氣がする。

毎月二日位、部員の其同作業として弘報資料の作製につとめる。井論調査は繼續する。

かほる五月に寺
か近くの海岸に
つて晴れた野づ
日樂しく過して
と考えてゐる。

明るくするものだと結論された。終つて座談會では「選舉について自主的に考えてやる具体的な方法」「台所と直結する政治とは如何」の質問に對し親切な答

ちより相互の研究により一步歩これを深め
る事により私達の仕事に對する関心も又變
つてくると思う。そしてこれらに對して温い
愛情をもつてすることと

二〇 八木原（丸善）
役員も決り

日間の年賀状の休みを
あれこれとスケジュー
ルをたてつつ川沿いの
道を歸る私のところは
たのしい。本とうに幾
月ぶりであろうか。日
ごとの生活のたたかい
に思考する力もないほ

つことのうれしさ。
「月の春めく夜である
西川から湧き上る川霧
がはるかな室のもやと
上をうつすらととりま
いている。川岸のひと

現在を考へる「時」
つことのうれしさ
喜しきがゆえに「時」
東洋から開放され
「時」をもつことの
した。

「団体かお」

◇公民館

昭和二十八年度 巻町公民館運営 方針

「大oyer」の藝能の夕等を開催。暇の善用に資す。選手の育成と各部を開催。スポーツ一般化を目指しレーシヨンの一翼を担う。図書部 前年通り図書館内閲覧の他、共同作業として、その整理、位置、将来郷土館、美術館建設をめぐる将來郷土石たらしめるたるの蒐集に努める。

日夜、新潟日報社の森田氏を招いて「婦人と選舉」の演題で「婦人と選舉」の演題で、「選舉の運営する力」の今年度の標語を基にして婦人の自主性の確立が如何に必要であるか、説かれ教えられなくとも自分で考える力をつけてはいけない。それには生活環境を改めたりしない選舉をしなければならない。選舉権といふ立派な権利は貰つたが使い道に迷っている婦人層の現状である。正しく行使するには、どの様な努力が必要とするか、つまり軍備をしたらどうなる事は出来ないので就職難は何故あるのか、再び政治の結びつきをほどいて判断してゆくことが正しい権利の行使である。税金は自分達の生活に福利を伴う所へ使つてゐるが、等色々な機会に努めて政治家と政黨とに考へてやる具体的な方法」「台所と結ぶ質問に對し親切な答

◆足とお花見
予定は十八日で加治
川堤をバスで行き、月
岡温泉へあたたまつて
一日を行楽と保養にの
びのびと過すつもり、
お早くお申込み下さい

が出来るるとき、初めて体験の発表や座談會などを開きつゝ会員間の連絡を計り、増員に励みますよ。これからだんだんと角家を留守にする。火災は忘れた頃、そつと六十余名の参加を得て開催した。今年も又余暇をみて、多くこの喜びを得らるると思う。

役員	土田藤孫子
副会長	笛木甚一郎
幹事長	栗賀貫太郎
幹事	本間孝一
各部責任者	各部責任者

や幻燈でみせて頂きました。
その間地名考、傳説
に引き続き、わらべ唄
を集めてみた。
これからも労作歌や
ぼん唄なども集めたい
と思っている。
前の傳説でもわらべ
唄でも、またこれから
のことでも知つてもら
れる方は会に出て来て
頂いていろいろ聞かせ
て頂けたらとつくづく
思う。会はたいてい月
の第一土曜の晩公民館
で瓦せんべいをかじり
て頂けたらと思います。
尙見学は天神山、國
上に續き五月初め弥彦
の荒城に行こうかと思
っています。(S生)
——

つつ若い生命を華地で終り、しかも作品の大部分を東戦火に失つた不運本正太郎君の、これに残つた僅かばかりの作品を並べてその間、秋り第七回までの間。小杉公平氏新去り、新に迎えた板村山の両君もまた土地をはなれて上校へ進み、僅に池森田が残るのみとなつた。

(第42号) 公民會議

2

四庫全書

はがき回路

共同目標について

2 1 時 刻 の 嚴 守
生 活 改 善

A black and white illustration of a person from behind, wearing a simple tunic and trousers. They are holding a long, thin staff or pole vertically with both hands. The staff has a small, dark, irregular shape attached to its top end.

卷一百一十五

愛なる皆様」をトランの苦しみに落し入れ、朝夕その節を変じ、しかして國家百年の訛をたて、住みよい日本を造るために粉骨さい心国民の公僕となつて働く。下さると言うのだから、うれし涙がおのづと流れるわけである。

會場での超満員の聴衆に、これほど「親愛なる皆様」が政治に対する熱意をもつてゐるということを立候補諸公はいかにみられたであろうか。

各候補者それぞれの意見を大手を上げたり下したり、前に組んだり伸びいそがしい。或る者は再軍備論を又これに絶対反対をする候補者獨特の舌戦とこれに呼応する聴衆のやじ入り乱れ折角出かけて来た大半の聴衆、甚々迷惑そな顔々、卒直に云えながらかりすることとばかりだつた。我々町民をなめてかかるれたのか制限時間、その他のせいかしらないが、ぐんと胸を打つものが何に一つなかつた。いたずらに他人の人身攻撃をやるよ

りも、あるいは總化的

ても、現在の段階では極言すれば我々が国政に参与するのは、清き一票を投ずるその瞬間にしかすぎない。あとは國民による、國民のための政治にして國民によらず、國民のためにならぬ政治が白晝堂々と行われているのである。あわれなる者よ汝の名は國民である。我々は候補者に次のことを切望する。

まず自己自身に誠実であつてくれ。説をまげず、惡事をなさず、我々を裏切らないでくれと。立候補者よ、我々はあなた方の一舉手一投足を注視していく。妄言暴言多謝る。

青年團の 再建を望む

渡邊寅雄

戦後、ち早く結成し自主的に運営された巻町青年團は郡下各町村青年團結成への啓蒙となり巻町青年團優秀なりの声の中に當々其の活動が展開されてきたが、最近はどうしたことか火の消えてゆく

青年の希望を私達青年の問題としてこれを解決してくれる強力な青年団が一日も早くこの巻町に出来る様に願つてやまない。

時ならぬ天候にわざわ
いされたが各チーム勝
んかなる意気により今
年度の野球誌の一頁を
飾るにふさわしいもの
があつた。

戦績は次の通り

一回戦

保健所3・2 税務署

丸 善12・2 北洋印刷

二回戦

丸 善12・2 西 協

地方事務所15・1 保健所

決勝戦

地方事務所6・2 丸善

◇原稿募集

町民の聲

隨筆・小品文

短歌・俳句

詩・その他

いづれも原稿用紙使用
のこと

宛先 公民館弘報部

(選擇については公民館)

入学式の様子

「先生の話をよく聞くんだよ」「はつきり返事をするんだぞ」「あなたのところは同じ組ですか、よろしく」「私のところ一組です」「あなたのところは同じ組ですか、よろしく」「同じ組ですか、よろしく」

四月六日小学校一年生の入学日の様子です。新しいランドセルを背に、手をひかれ乍ら可愛い目をくりくりさせて元氣よく集つてきました。

校長先生から

○学校は面白い所ですよ

○仲よくけんかをしないように

○一人で学校へ来るのですよ

○思うことをはきはき言いなさい

などのお話をみんな真剣な顔つきで聞いていた。

やがて初めて見る先生の後について教室へ入った

(机がたくさんある)

（椅子に腰掛けたらじつといていれば良いんだなあ）

（後にお母さんがいるから安心だ）

（こんなことでも考えているのでしょうか。どの子も大変お行儀がよく、まわりで心配そにしている親の方がにぎやかなようであつた。）

△先生の名前を何邊も言つてみる

△一人一人名前を呼ばれ元氣よく返事をし

△明日から一人で学校へきなさいと、くりて名札をいたくだ

吉田の今井様の土藏を破る音が巻まできこえたとその話といつしかみ出して「くれてやるぞ」とばくれてやるぞ」とばかりに聞うちで小切

卷海紅 三月句抄

こよなく愛するものと生き地に鶴の水ぬるむ

須貝 秀

このさわぎも下の方

からやつて来て、彌彦

このさわぎも下の方

を通つて寺泊の方まで

行つたらしいが、この

辺の連中は途中から

大河津辺からみんな歸

つてしまつたらし

い。それでもさわぎがす

んだ後でしらべが初ま

るとおちつかなかつて

逃げたりかくれたりし

たそだ。

(吉川嘉兵衛氏談)

参考 (越後佐渡農民運動 四八四頁)

(岩波全集明治維新二六九頁)

卷小 南須原 達夫

返し注意される
△おしつこの出る時や

【拔書・聞書・覚書】
御一新前後

①うちこわし(続)

その跡なら茶の間の大黒柱に残つていた。

これがその時のまさかの跡だと子供の頃よ

くきかせられた。

それから居前へ酒樽をねいてどんどんのま

せてやつたのだそ

だ。

吉田の今井様の土藏をねいてどんどんのま

せてやつたのだそ

だ。

吉田の今井様の土藏



外

卷町選舉管理委員會
卷町公民政館

參議院議員選舉

卷町開票結果

◇地方區

田西稻下	山村	文吉
川柳恭	村隆	平治
一	一	一

有權者總數

無効投票數

有効投票數

總投票數

◇全國區 (得票順二十名)

一、二六五票	二、二六五票	三、七七八票	四、四六二票	六、四二〇二三票
一一一	一一一	一一一	一一一	一一一

有權者總數

無効投票數

有効投票數

總投票數

高橋兼土	柏占早	大土九
橋原岩	木田和	屋山
國太郎	庫秀慎	春直
傳嘉一	治男一	樹友

投有效票者總數

六八、一八%	三、九三五	六、二〇一
--------	-------	-------

大上中松高林三森雨豐
谷野村沢岡浦田森田常太
よし雄富之忠義義孝
市隼人信弘了男衛郎

無効投票數

四、二三八

四五五六六〇二三六九
八二八〇七一〇一一一